

野菜



トマト黄化葉巻病・黄化病対策のための効果的な薬剤使用法 '15-'16 冬春作版

ベリマークSC かん注
(トマトは粒剤から変更)
(ミニトマトは従来どおり粒剤)

コルト顆粒水和剤
(サンマイトから変更)

定植3日前 ↓ ↓ リセット防除

タバココナジラミの発生量

① 成虫に効く剤でウイルス感染防止

コルト ※サンマイト
スタークル ベストガード
アニキ ディアナ

※ベネビアは来春に使用(ベリマークと同成分)

② ハウス内のコナジラミを一掃

③ 「増やさない」・薬剤抵抗性をつけないことに専念(幼虫への効果だけでもOK)

①、②、④以外の農業主体
クリアザール ※モメント
アブロードエース コロマイト
気門封鎖剤 微生物殺虫剤

※モメントはマルハナバチに影響があるので注意

④ 成虫に効く剤で「出さない」対策の効果を高める

スタークル ベストガード
アニキ ディアナ
コルト ハチハチ
※ベネビア

※サンマイトは登録変更の可能性があるので、早めの使用(年内を目安)に努める。

果樹



12月の柑橘園管理



果樹

後藤 昇
下島宮農指導センター
080-1729-1631

平成27年産は9～10月期の乾燥、着色の早期化により、果実体質は弱い事が予想されます。主力となりますデコポンでは果皮強化対策の徹底と、中晩柑全体では貯蔵病害散布を徹底し収穫に備えましょう。

1. 病虫害防除

対象病虫害	農業名	希釈倍数	収穫前日数		備考
			温州	中晩柑	
貯蔵病害	ベフラン液剤25	2,000倍	前日		中晩柑 1回目
	ベンレート水和剤	4,000倍	前日		中晩柑 2回目
	ベフトップジンフロアブル	1,500倍	7日前	前日	中晩柑 3回目
ハダニ(発生時)	コロマイト水和剤	2,000倍	7日前まで		
	スターマイトフロアブル	2,000倍	7日前まで		
越冬害虫	マシン油乳剤 95%	40倍	—		温州みかん対象

※ベフラン液剤25、ベフトップジン(F)には、水腐れ防止の為にアビオンE(500~1,000倍)を加用しましょう。

※すでにハダニの防除で、コロマイト(水)・スターマイト(F)を使われている園では、各担当地区の指導員に相談下さい。

2. へた落ち対策

収穫から長期間貯蔵を行う甘夏などでは、へた落ち

防止の為に散布を行って下さい。

対象品種	農業名	希釈倍数	収穫前日数
甘夏・伊予かん・八朔	マテックEW	2,000倍	10～20日前まで

3. 水腐れ・コハン症対策

11月の柑橘園管理でも紹介しましたが、本年産のデコポンやポンカンでは果皮の体質が弱く水腐れのリスクが高いです。ジベレリンを散布されていない園では早急に散布を行い、果皮強化に努めましょう。

○ジベレリン液剤40mlの場合

対象品種	使用濃度	1ビン当たりの水量	実施時期	収穫前日数
ポンカン	0.5ppm	400ℓ	着色始期～4分着色期	21日前まで
デコポン	1ppm	200ℓ	着色終期	7日前まで

4. 樹勢回復対策

収穫が終わった品種ではまず十分にかん水を行い、その後チッ素主体の葉面散布で樹勢回復を行いましょ

	資材名	希釈倍数又は袋数	備考
葉面散布	尿素・アミダージュN14 又は神協スピリッツ	500倍	樹勢を確認し、3回程度集中散布しましょう。
施肥	ハイヤ1号	2袋/10a	温州みかん対象

畜産

梅田 智章
下島営農指導センター
080-1729-1620



畜産



子牛の病気について

日に日に寒くなっていく季節となりました。冬は子牛の風邪や下痢が増える時期でもあります。病気の早期発見、早期治療に心がけましょう。

さて、子牛の病気について寒冷期はどのような対策をしたらいいのでしょうか。

①不衛生・寒さはストレスのもと。

不衛生で寒い牛床では子牛に過度のストレスがかかり、特に感染症が発生しやすい環境になっています。

* 敷きワラの清掃は定期的に行っていますか。

* 子牛の体が濡れた状態になっていませんか。

子牛は親牛に比べて皮下脂肪が少ないので、体が濡れたままや寒風にさらされると、体温が低下して風邪を引きやすくなったり、お腹を冷やすと下痢をおこしたりして発育が悪くなります。

子牛が温かく、快適な環境を整えてあげましょう。

(保温対策：赤外線暖房装置・カウジャケットなど)

②元気な子牛は母牛の管理から

子牛が元気に育つためには哺乳期の栄養が欠かせません。

* 授乳する母牛の飼料は十分にありますか。

* 子牛は母乳（又は代用乳）をしっかり飲んでいますか。

分娩前1～2ヶ月からの増飼で母牛の栄養管理をしてください。

子牛に十分な栄養を与えて、病気に強い子牛を育てましょう。

③適切なワクチンで疾病予防を。

疾病の予防にはワクチンも効果的で

す。新しい牛呼吸器病予防の為の鼻腔粘膜ワクチン(TSV-2)というワクチンがありますが、当管内の数件の畜産農家も使用して子牛の疾病がかなり減少したと言う声もあります。

ただし、使用については、かかり付けの獣医師にご相談してください。

最後に、他にも色々あると思いますが、まず子牛の居住部分だけでも体を冷やさないような工夫をしましょう。牛に良いと思った事を、すぐに行えば牛が答えてくれます。創意工夫をして牛飼いを頑張りましょう。

ベジフル歳時記

おせち料理に込めた願い

シニア野菜ソムリエ ● KAORU

さまざまな行事や準備で大忙しの年末。「おせち料理」の仕込みもその中の一つです。「おせち」は「お節」と書き、平安時代に中国から伝来した五節句のことを指します。古くは季節の

変わり目である五つの節句ごとに神前に供え、五穀豊穡(ほうじょう)や家内安全、子孫繁栄などをお祈りしていましたが、時代とともにその風習も変化し、おせち料理として盛大におもてなしをするのは1月の節句だけになりました。

しかし、今でもそこに込める願いは同じ。良い年になるようにと縁起を担いで自然の恵みを華やかに盛り合わせます。その中には海の幸、山の幸とさ

まざまな食材が存在しますが、特に季節の野菜は欠かせません。実は使われる野菜はそれぞれに意味が込められているのです。

レンコンは穴が空いていて先の見通しが良くなるように。ゴボウは細長い根が深く地中に根差すことから安定した生活が送れるように。サトイモは親芋・子芋・孫芋と育つので子孫繁栄を願って煮物などに使われます。なますのダイコンは大地にしっかりと根を張ることから土台の強さが繁栄を表すほか、純白は清らかさを。さらにニンジンとの色合わせで縁起の良さを表現。クワイは芽が出ることから「めでたい」、黒豆はマメに働きマメ(健康)

で暮らせませすように、栗きんとんの栗は輝く黄金色から財宝に例えられ、豊かな一年を祈っています。国花であり長寿を表す菊の形に飾り切りした菊花かぶは旬のカブを使用、お多福豆はお多福に似た形のソラマメの甘煮で、多くの福を招くとして祝い膳に登場します。

あらためて「おせち料理」の歴史や意味を知って味わうこと。それは私たちにいっそう大きな感動やおいしさを与えてくれるでしょう。

